

平成 22 年第 8 回定例会一般質問通告書

通告 1 番 山内孝樹議員
質問方式 一問一答方式
質問事項 安全・安心な生活確保のための危機管理体制は
質問の相手 町長
質問の要旨 水は日常生活における最需要資源である。先般、歌津地区で水道水の異常発生による水道水の飲用が制限された。翌日、事故原因が解明され事なきを得たが、改めて水の重要性を認識するものであった。共に事故は危機管理を兼ね再発防止対策、及び改善策の課題を残した。これを契機とする有事の際の周知手順を取り入れた新たなマニュアルの作成は。

通告 2 番 千葉伸孝議員

質問方式 一問一答方式
質問事項 住民生活の危機管理体制は万全か
質問の相手 町長
質問の要旨 (1) 南三陸町の建設企業における公共事業は激減の一途をたどっている。建設業の衰退は町民の雇用の場の減少であり、町の消費活性化の大きな低迷の原因ともなっている。建設業や工務店への町発注建設工事の増大や参入拡大の対策は。
(2) 公共下水道工事における家庭排水の浄化・し尿処理は、近々に進めなければならない環境整備事業である。遅々として進まない残っている地域の公共下水道工事がある。町としての今後の取り組みと対策は。
(3) 住民が広く活用する道路の整備が進んでいない。町内には各地域に密着した多くの寺院がある。その寺院までの道路整備は安全面において確保されているのか。(戸倉字町・門内地区)
(4) 総合計画に基づく「町づくり」は、今の激変する社会環境に本当に順応していけるのか。財源の確保・福祉医療充実・働く場造り・教育環境整備・家庭生活向上など、政策・対策は万全なのか。町長の「トップセールスマン」としての責務は果されているのか。

通告 3 番 菅原辰雄議員
質問方式 総括質問方式
質問事項 河川整備管理と老朽橋への対応について
質問の相手 町長
質問の要旨 町内には主要 13 河川があり、2 級河川の県管理部分も含め近年、一部災害復旧工事等を除き維持管理は不十分であると考える。

特に町管理部分は、昭和 30 年代後半から 40 年代の高度経済成長期に整備はほぼ完了したものであると認識している。長年手つかず状態で土砂等の堆積物で流れが狭まり護岸の根元が洗われ浮いている個所も見受けられる。堆積場所には、ヨシや雑草が繁茂し、ゴミも溜まり景観上からも好ましくない状況である。更に大雨時には洪水誘発の要因にもなるものと考ええる。又、老朽化した木造橋の架け替えの必要性や永久橋へのメンテナンス等の対策が必要と考ええる。これらの現状をどう捉えどのような対策・対応をして行くつもりか。

通告 4 番 星 喜 美 男 議員

質問方式 総括質問方式

質問事項 公立志津川病院経営基本計画・病院改革プランについて

質問の相手 町 長

質問の要旨 公立志津川病院は地域唯一の病院で、周辺の中核病院へは約 1 時間を要する地理的特性があり、救急医療等に十分な対応ができる診療体制が求められている。しかし、医師不足により体制的に厳しく、病院経営への影響も大きい。そこで早期の改善を望み次の点を伺う。

- (1) 経営基本計画の執行状況は。
- (2) 宮城県地域医療計画とのネットワーク化の推進状況は。
- (3) 宮城県医師育成機構との連携による医師の招聘は。

通告 5 番 三 浦 清 人 議員

質問方式 一問一答方式

質問事項 学校給食費の見直しを

質問の相手 町 長

質問の要旨 不景気で世帯年収が下がる一方、教育費（在学費用）の負担割合が増えている。保護者の負担を軽減するため、小中学校の給食費を値下げする考えはないか。

通告 6 番 大 瀧 り う 子 議員

質問方式 一問一答方式

1 件目

質問事項 太陽光発電に助成制度を

質問の相手 町 長

質問の要旨 地球温暖化がさげばれている昨今、自然エネルギーの利用促進は二酸化炭素の排出量を抑制し、地球温暖化防止となる。さらに、環境に対する町民の意識啓発をはかるためにも、太陽光発電の促進が必要と考ええる。町の助成の考えは。

2 件目

質問事項 平和行政推進の条例制定は
質問の相手 町 長
質問の要旨 今回、9月定例議会で「核兵器のない平和な世界を願う南三陸町宣言」が高らかに謳われた。すでに大きな垂れ幕も掲げられ、平和行政実行の段階にきている。そのためには、条例の制定がいそがれるがその考えは。

通告 7 番 鈴木春光議員

質問方式 一問一答方式

質問事項 6次産業化で地域雇用の創出を

質問の相手 町 長

質問の要旨 今日の農業の実態を考える時「農は國の基」と話されるように食料生産はすべての産業の基本であることを忘れてはならないのは御承知の通りであります。地域農業者、JAとの連携を強め農業の6次産業化の推進によって地元雇用の創出を図るべきと思う。農業農村の雇用創出確保と所得向上に取り組むべきと考えますが町長の考えは。(6次産業は生産・加工・販売までを云う)